

第5次佐倉市総合計画 第4回佐倉市総合計画審議会 会議録

日時	令和 元年 5 月 14 日 (火) 14 時 00 分～15 時 38 分 15 時 50 分～17 時 06 分	場所	議会棟 2 階第三委員会室
出席者	淡路委員、石井委員、佐藤委員（会長）、遠山委員、副会長（副会長）、山本委員、 （欠席）明石委員、坂本委員、服部委員、安川委員		
	事務局	企画政策課 和田課長、藤崎副主幹、齊藤主査、松本主査、田中主任主事	
内 容			
事務局	<p><b>議 事</b></p> <p>（1）第5次佐倉市総合計画の策定状況等について</p> <p>①総合計画書の構成</p> <p>○資料 17「第5次佐倉市総合計画の策定について」、資料 18「総合計画、総合戦略、個別計画の関係性」について説明。</p>		
委員	<p><b>質 疑</b></p> <p>（総合計画と総合戦略の関係について）</p> <p>第5次総合計画に、市長の公約は反映させているのか。</p>		
事務局	<p>市長の公約は、基本施策に反映していきたいと考えている。基本施策の中で公約を読み取れるか確認作業した。今回提示した総合計画は、公約を反映したものとなっている。</p>		
委員	<p>総合戦略を個別計画とするとのことだが、他の個別計画と総合戦略の整合性は大丈夫か。今回も、総合戦略の施策を重点施策として掲げるということで良いか。</p>		
事務局	<p>総合戦略は、国のまち・ひとしごと創生総合戦略に基づき、定める計画であり、4つの重点施策を掲げ、その下に具体的事業がぶら下がっている。現時点では、国から方針が示されておらず、現時点ではお示しすることはできない。総合戦略に掲げた指標は重点的に取り組んでいく。</p>		
会長	<p>国の方針が出たら実施計画に落とし込むという理解でいいか。</p>		
事務局	<p>その通り。</p>		
委員	<p>総合戦略の重点施策と第5次総合計画の重点施策のバランスをどのようにとっていくのか。</p>		

事務局	第5次総合計画の重点目標でも、人口対策を課題の一つとして掲げており、総合戦略の施策が含まれるが、重点目標は、総合計画の総合戦略に掲げる施策よりもカバーする範囲が広くなると考える。
副会長	(将来都市像について) 将来都市像は、案②が良いと考えるが、「歴史・自然・文化」と「健康」を並べるのは違和感がある。 また、前回も同様の提案をしたが、 「ともに創ろう」→「みんなで創ろう」 「誰も取り残さない」→「みんな笑顔」 「持続可能なまち」→「未来をつかむまち」 にしてみてもどうか。
委員	「持続可能」という表現は、役所言葉であり、使わない方がいいのでは。
委員	SDGs の考え方を取り入れたほうが良いのでは。個人的には、「誰一人取り残さない」という表現を入れたほうが良いと考えるが、将来都市像には強い表現でないほうが良いとのことであれば、基本施策にその考えを取り入れ、本気で取り組むという姿勢を示すべきでは。
事務局	資料 19「第5次佐倉市総合計画（骨子案）」について説明。
委員	(施策体系について) 施策体系をスリム化したことは良いことだが、まちづくりの基本方針については、見出しでなく、まちの方向性を示す表現にした方が良い。
委員	部門ごとに同様の事業を実施していることから、地域のイベントが重複していることが散見される。施策体系を見直すことで、重複を解消することはできないか。
事務局	総合計画の施策体系の中で改善を図る内容のものではなく、実施主体同士が調整しながら改善していくべきものと考え。
委員	基本施策の並び順に意味はあるのか。優先順に並べていると勘違される方もいるのでは。
事務局	第4次総合計画の基本施策の順番となっている。ライフステージの順に並べる等の検討をする。
委員	基本施策の中に、「災害」の記載がない。災害への備えは重要な要素であり、

	明記すべきではないか。
事務局	具体的施策には記載がある。今後、基本施策に「災害」というキーワードを明記するか、検討する。
委員	施策のスリム化により、「認知症」という表現が消えてしまった。認知症対策は今後ますます重要になることから、施策に明記すべき。
事務局	具体的施策には記載がある。今後、基本施策に「認知症」というキーワードを明記するか、検討する。
委員	児童虐待に取り組む施策がなくなってしまった。どの施策に含まれるか、分かるようにすべき。
事務局	施策に入れるよう検討する。
委員	(SDGs について) SDGs を計画に取り入れることは評価できるが、基本施策との関係を示した表は改善が必要と考える。アイコンから逆引きできる表のほうが良いのでは。
事務局	検討する。
委員	(重点目標) 4つの重点目標と主要課題は、すべて関連があるといえるので、矢印は不要と考える。
事務局	取る方向で検討する。
委員	行政の主な課題と、重点目標に掲げた課題が重複している。重点目標に掲げた課題を示すグラフは不要と考える。
事務局	検討する。
委員	重点目標に掲げた重点施策と基本施策の関係性が分かりづらい。
委員	表題が見づらい。
事務局	改善する。
	(基本施策の体系について)

委員	12年後の目指す姿を示すのは分かりやすく、良いと思うが、その下の「施策の基本方針」の内容と重複しているところもある。12年後の目指す姿を、まちづくりの基本方針ごとにまとめて表記するなど、改善が必要と考える。
事務局	検討する。
委員	成果指標を掲げことは、施策の方向性が明確になるため、評価できる。しかし、公共交通が利用しやすいと思う市民の割合を4.5%引き上げるとの目標を掲げているが、達成は難しいのではないかと。公表されなかったとしても、目標を達成するための具体的な取り組みを明確にしておくべき。例えば、施策にある「他の施策との連携」をすることで、割合を上げることを狙っていると説明できれば、この事業が有効な事業かどうかを、指標の進捗によって把握できる。そこで、効果がでていない事業については、適宜、他の事業に変更する等の見直しを行っていく。
事務局	PDCAサイクルの中で、事業の廃止を含め、見直しを図っていききたい。
	<b>議 事</b>
	(1) 第5次佐倉市総合計画の策定状況等について
	②基本施策(第2章 都市基盤・住環境)
事務局	○資料19「第5次佐倉市総合計画(骨子案)」の第2章 都市基盤・住環境の1. 都市計画・公共交通～5. 上下水道 について説明。 ○服部委員作成の資料について説明
事務局	服部委員の指摘にある、新築着工件数は極めて少ないが、中古住宅流通量は首都圏で3位であり、その点を踏まえ定住人口については対応すべきという点についてですが、ユーカリが丘と寺崎中心の限られた地域で分譲が拡大している状況で、月間50棟は難しい。一方中古住宅については、中古住宅リフォーム支援事業は、予算規模拡充して積極的に取り組んでいる。また、近居・同居支の補助にも取り組んでいる。 また、八幡台・千成の対策についても、住生活基本計画の中で、千成地区・八幡台地区をモデル地域として検討を進めているところであり、委員提案の指標については現時点では出せない状況である。
委員	(全体の提案) 総合戦略みたいに、具体的な事業を乗せてほしい。
委員	「市民の役割」は、「市民の取組」に変更したほうがいいのか。 また、市民の役割について、市民が参加して活動する場、意見を言うことができる場、活動をする際の支援制度などについて具体的に示してほしい。それが市民参加につながるのではないかと。市民が参加するプロセスを示してほしい。

	<p>しい。</p> <p>また、P70の「都市と農村が共生するまちづくりを計画的に推進します」と市民の役割がマッチしていない。市民の役割に具体的な内容を記載してほしい。</p>
事務局	<p>基本計画の中で、具体的な取り組みを乗せるのは難しい。基本計画で定めた方針に沿って、個別計画の中で具体的な計画を立てていくことになる。基本計画が個別計画にスムーズに繋がっていくよう進めていきたい。</p>
委員	<p>策定方針には、策定にあたっての基本的な考え方の一番に市民参加（市民協働）をうたっているのので、これをどうするのかということをお願いしたい。総合計画に参画するための市民の行動プランを盛り込んでいくことも、市民参加を強調したという経緯がある以上、どこかで抑えてほしい。</p>
会長	<p>市民アンケートで市民の意見を施策に反映しているが、中身について、やや押し付けになっている懸念があるとすれば、アンケートの結果を市民の役割にうたっていただければいいのでは。</p>
副会長	<p>基本計画の中に、具体的事業を取り入れることは難しいのでは。石井委員の意見は個別計画の中に取り入れ、個別の関わり方が生まれるのでは。</p>
部長	<p>個別計画には当然盛り込ませていただくが、基本計画の中に、誰をターゲットにするということを明示するのは難しい。</p>
委員	<p>総合戦略に事業名がかかっているのは分かりやすいと感じるが、基本計画の中に事業名を書き込むかどうかはそちらの判断でよい。</p>
	<p>(具体的な提案)</p>
事務局	<p>1. 都市計画・公共交通</p> <p>高齢者等、社会的に弱い方に対しては、総合利用方式（民間バスとコミュニティバスの乗り継ぎ）での割引制度できないか検討してほしい。路線バス廃止に対し、住民がチケットの購入確約をすることで廃止を免れたケースもある。いかに乗る人を増やすことも含め、乗り継ぎ制度への負担軽減を図ってほしい。</p>
事務局	<p>毎年、バス会社と高齢者対策の検討をしているが、行政の負担なしにバス路線を維持できないのも事実である。その中で、乗り継ぎや負担軽減にどこまで取り組めるかは課題も大きい。しかし、具体的に困っている高齢者への対応は引き続き研究していきたい。</p>
委員	<p>景観形成の範囲が見えない。市民がわかるような景観の取組について盛り込</p>

	んでもらいたい。
事務局	個別計画の「佐倉市景観計画」で「景観」の範囲は指定されている。範囲を総合計画の中に収めるのは難しいと思うが、検討していく。
委員	6. 消防・防災 市で防災訓練をやってやるか。
事務局	年一回やっている。
委員	防災には、自助・共助の観点が重要であることから、「市民の役割」の内容を充実してほしい。
委員	洪水対策についての記載がない。施設整備については、どこに盛り込まれているのか。どの部署が担当なのか書いてほしい。都市部以外の洪水対策をこの中に書き込んでほしい。
事務局	5. 洪水対策は、上下水道の「雨排水の処理施設を適正に管理します」に盛り込まれている。
委員	担当課で整理すると市民にとっては分かりづらくなってしまうのでは。内容で施策を整理するのも良いのではないか。
事務局	洪水対策について、防災と上下水道で記載が別れてしまっており、わかりにくい記載となっているとの指摘に対しては検討する。
委員	施策の内容及び主な事業は、予算額の多寡で判断するのではなく、市民にとって意味のある取組を掲載するという観点をもったほうがいい。
副会長	雨水の貯留施設を普及させるために、各家で生活用水を活用するという視点も必要では。
委員	自治会で災害時の対応を検討している。実際に災害が起こった際は、数日間は自助・共助で乗り切る必要がある。避難所となった体育館をどのように運用するかなど、具体的な訓練をしていない。関連に部署が集まり防災訓練をやってもらいたい。具体的な活動をしてもらいたい。
事務局	危機管理室に連絡すれば対応する。
委員	交通弱者が事故から免れるような施策を、佐倉市としての考えを入れておいた方がいいのでは。

事務局	現状と課題として把握しており、対策も取っていく。
委員	<p>(市民相談・結婚支援) (環境保全)</p> <p>結婚相談の推進、プラスチックごみの対策にどう向き合うのかというのを、計画の中で示してほしい。具体的には結婚相談に力を入れていきませうということ、プラスチックごみをどうしたいかという各課の本気度が見えるように入れてもらいたい。</p>
事務局	結婚相談・プラスチックごみの対策について力を入れていくことが分かる表現にできるか、担当課と調整をしていく。
委員	<p>(財政推計について)</p> <p>財政推計は、行政改革も何もしない場合の現状の要件を推移した場合の推計。12年間の推計では、特別な行財政改革等に取り組んだ場合、乖離が広がってしまう。このことから、12年の財政推計を割愛し、4年の推計を記載していくのがよいと考えている。</p> <p>また、計画した事業のすべてを実施することができないことから、重点施策や総合戦略に掲げた事業に優先的に予算配分していきたい。</p>
事務局	今回示した財政推計は、特別な対策を講じない場合のケースとして示したものであり、12年間の推計は精緻なものでないことから、4年の推計としたい。
委員	財政推計は人口動態と関連性が強く、大企業が進出してこない限り、財政推計影響は少ないため、財政推計と総合計画をリンクさせる必要はないと考える。やるべき事業を実施し、残った部分で何ができるか考えればよいのでは。
会長	財政推計は民間でも10年先は読めない。3年～4年でしっかり見ていけばよいのでは。